

「2024年韓国・延世大学校スプリングスクール派遣報告書」

京都大学工学部3年 井上 明南

① 学習成果

これまで海外渡航経験すらなかった自分にとって、今回の留学プログラムは語学の能力を伸ばし、外国語への意識を高める大変良い機会であった。日本でも朝鮮語を学ぶことはできるが、やはり現地の大学で授業を受けることが外国語を吸収するためにこの上なく重要であることを感じた。また、英語を使用する講義も受講させていただいたが、そこで実際の英語のスピード感を感じるとともに英語が自由に話せないことは外国ではスタートラインにすら立てていないという意識を生み出す事ができたため非常に良い経験であった。授業への意欲も日本とは乖離している部分があり、より早く思考して自分の考えを述べることの重要性にも気づいた。

授業のクラスメイトには様々な国籍の方々があり、その人達のバックグラウンドや母国の魅力、特徴等を聞いてみたり、自分が日本について話したりすることで国際交流の楽しさと貴重さを知ることができた。また、それを話す際には朝鮮語か英語を使うため実践の場としても良いものであった。

次は英語圏か再び朝鮮語圏により長い期間留学しに行きたいと思うようになった。

② 海外での経験

私は海外渡航経験がなかったため、全てが新鮮であった。韓国で生きていく上で当然朝鮮語を話さなければならなかったため、常に言いたいことを朝鮮語でどう伝えるかを考えなければならなかった。そのため大変ではあったが語彙が飛躍的に増えたと感じる。

我々が渡航した時期は各地でデモが行われており、日本では経験できない規模のデモを目の当たりにした時は驚いた。しかし、世界でどのようなことが起こっているかを実際に肌で感じる事ができた良い機会であった。

歴史記念館にも赴き、日本と観光がどのような歴史を共に辿ってきたかを韓国からの視点で知ることが出来たことも貴重であった。

③ プログラムの内容

朝鮮語授業は入学時に受けたテストによりクラス分けがされ、各自そのクラスで受講するという形であった。文法はある程度理解しているが、会話が苦手だったため少し内容が易し目のクラスであったがクラス変更をしなかった。しかし、意外に知らないことが多く、かなりの大きな学びを得ることが出来たため大変満足している。基礎を固めることで高度な文章も少しずつ理解できるようになっていった。授業は双方向授業で、授業内で考えて話す機会を多くくださったため、スピーキングの練習になった。和気藹々とした雰囲気で大変楽しかった。

文化体験は、料理体験等、韓国の文化に触れることができ、楽しかった。

④ 進路への影響について

今回の留学で、朝鮮語を使用する職種にも興味が高まった。今後はハングル検定や TOPIK 等にも挑戦し、より自分の挑戦語能力を伸ばしたいと考えている。